



## 矢地 由紀子氏プロフィール

昭和 40 年石川県生まれ。平成 9 年「畦」上田五千石に師事。最初の作品が掲載されて間もなく主催の訃報に接する。後継誌「かなえ」を経て「萌」創刊入会。現在「萌」同人。

### 『白嶺』

(自選15句)

矢地由紀子

愛鳥曰すこし殖えたる児の喃語  
固茹の黄身はつこりと春立つ日  
雪中のさみどりの菜を束ねけり  
天心を無心に指せる冬身かな  
犀川の空ひろければ遠青嶺  
おうおうと冬松籟の閑所あと  
清秋の晴天に父逝きませり  
枳菓子が無銘がよろし秋風裡  
聲ゆでて湯気まで赤し年の市  
一朵一朶送りと雲の秋深む  
椀満たす加賀金澤の根白草  
弥陀の子と思ふ蜘蛛の子吹かれけり  
御文やも知れぬ堂宇の落し文  
けふのこと父の螢と語りひぬ  
白嶺は水を祀りぬ花菖蒲